

地域との協働、民間活力導入による 道路管理について

徳島県県土整備部道路総局道路政策課 道路整備課

1. 徳島県の概要

本県は、四国の東部に位置し、四国山地を背景に北は瀬戸内海、東から南にかけて紀伊水道、太平洋に面した山地の多い地形となっています。その海岸線はうず潮で知られる鳴門海峡、阿波松島と称される橘湾、さらに千羽海岸、八坂八浜、水床湾など、変化に富んだ美しい景観を誇っています。また、全面積4,146平方キロメートルの8割が、山地で占められており、日本三大秘境の一つである祖谷をはじめ、四国第2の高峰、標高1,955メートルの剣山や1,000メートルを超える阿讃の山々がつらなる四国山地は、まだまだ手つかずの自然がいっぱいです。”四国三郎”で知られる吉野川は、延長194キロメートル、水源を遠く高知県に発し、本県に入って大歩危・小歩危の深い峡谷を作り、その下流にはくさび形の徳島平野（徳島市）が広がっています。

本県の気候は、温暖多湿の地域と瀬戸内海気候、海洋性気候の一部の地域からなり、冬でも雪の降る日が少ない温暖な気候、河川上流域の豊富な降水量、全国有数の日照時間は本県の豊かな自然を生み出しています。



写真1 剣山



写真2 大歩危・小歩危



写真3 吉野川



写真4 大浜海岸

2. 道路の現況

徳島県には、国道が13路線、県道が202路線、市町村道が31,123路線あり、実延長は併せて約14,962kmです。また、国県道の改良率は63.8%、舗装率は55.5%となっており、残念ながら全国的にみると低い水準となっています。

これは、本県には吉野川をはじめとする大きな河川があり、それを渡るための橋梁に多大な費用がかかることや、急峻で脆弱な山地が多く、道路建設費がかさむことなどが原因で、今後重点的な整備が必要となっています。

一方、道路の管理面においては、高度経済成長期に架設した橋梁が多数あることなど、今後、既存道路施設の老朽化への対応が求められていますが、一方、道路の維持管理予算についても、公共事業予算と同様に大変厳しい状況となっています。

このため、道路機能の維持管理水準の見直し、「橋梁長寿命化修繕計画」の策定、あるいは維持管理手法の転換など、維持管理費のコスト縮減への取り組みが急務となっています。



図1 県内の主要幹線道路網図

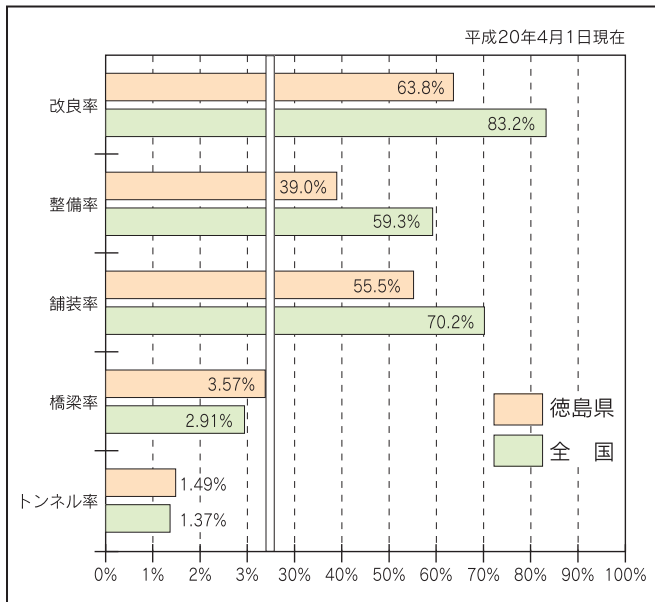


図2 徳島県の道路状況 (国県道)

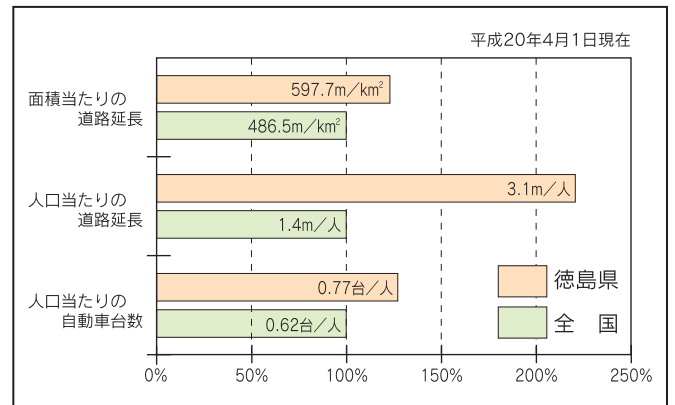


図3 徳島県の道路普及状況等 (国県道)

3. 地域との協働、民間活力導入による道路管理について

本県においては、厳しい財政状況においても、各種の重点施策は着実に実施し、県民サービスを低下させないための「ゼロ予算事業」、「県民との協働推進事業」、「県民スポンサー事業」などを推進しています。

道路の管理においても、県とボランティア団体が話し合い、ある一定の範囲を決めて、その範囲の清掃活動等をボランティア団体が行う、官民協働による「アドプト・プログラム」への取り組みが全国に先駆けて行われ、大きな成果を上げています。

一方、今年度から、民間企業等に道路の維持管理費の一部を負担していただく事業、あるいは、施設命名権を新たに道路に導入するネーミング・ライツ事業にも、新たに着手し、これらの多様な維持管理によるサービス水準の確保に取り組んでいます。

① 徳島 OUR ロードアドプト事業

(1) 事業概要

「徳島県 OUR ロードアドプト事業」は、徳島県管理道路におけるボランティア活動の活性化及び道路愛護意識の高揚を図ることを目的として、全国に先駆け、平成11年10月に神山町及びアドプト・ア・ハイウェイ神山会議と覚書き交わし、事業を発足いたしました。

この活動は、子供からお年寄りまで地域の誰もが簡単に参加でき、ゴミ処理やゴミ袋の提供等は行政が担当し、ボランティアに参加する住民と行政が助け合いながら「協働」で地域をきれいにする取り組みです。

参加団体は、原則として100m以上の区間を年間3回以上清掃美化活動を行っており、町内会や老人クラブなどの地域住民団体の他、スポーツ団体、法人など様々な団体に活動が広がり、年々参加団体は増加しています。

・県が支援する内容

- 1 ボランティア団体を表示するサインボードを設置
- 2 ボランティア活動中の事故を対象とした保険に加入
- 3 ゴミ袋等をボランティア団体に提供

(2) 参加団体状況

平成21年度末現在、8市14町村で357団体、参加登録人数約7,000人、延長約540kmとなっています。

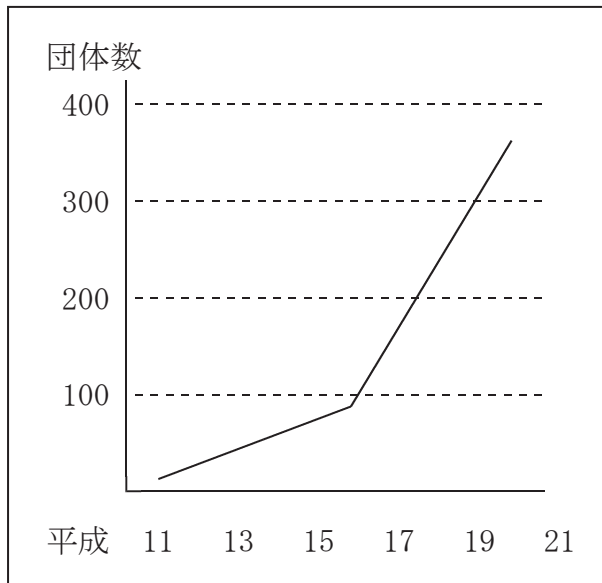


図4 参加団体推移

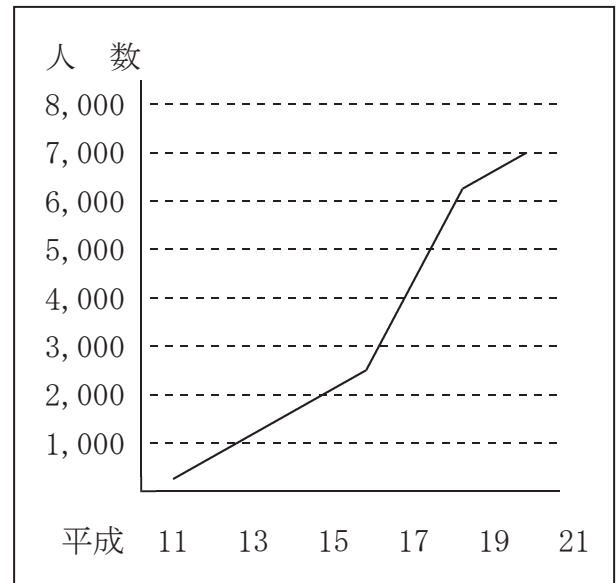


図5 参加登録人数推移

(3) 今後の取り組み方針

この事業を広げていくためには、地域の人々や市町村の理解、協力を得て、アドプト活動が「参加者との連携による地域づくり」の一つの手法として広く実施され、ボランティア活動として定着する必要があります。また、参加団体が少ない地域には、更なる広報活動により参加団体拡大に取り組んでいます。



写真5 活動状況①



写真6 活動状況②

② スポンサー付道路照明灯事業

(1) 事業概要

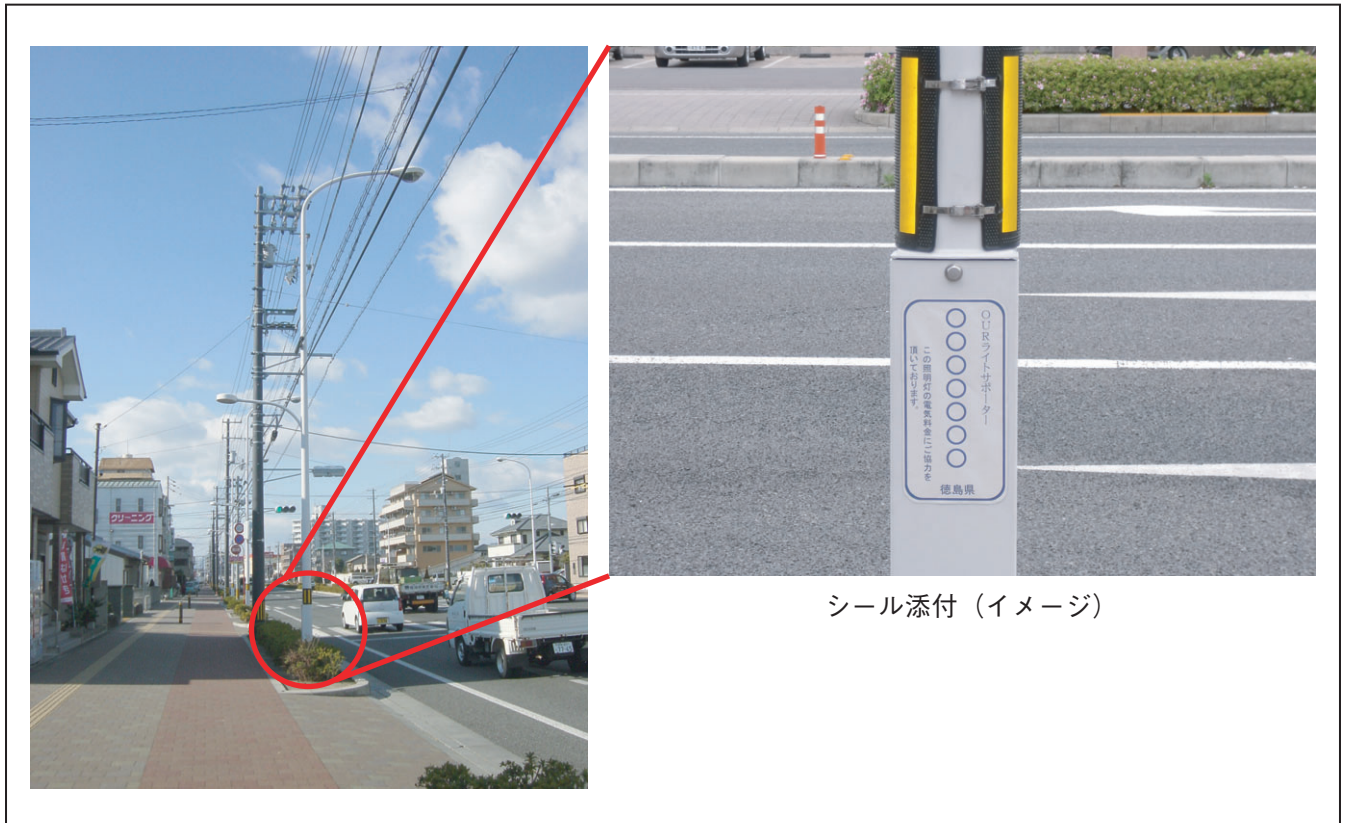
徳島県では、平成22年度より企業・団体等と徳島県が協働して県管理道路の照明灯を維持管理していくことで、道路への愛護意識を醸成すること、維持管理費の逡減させることと共に、企業・団体等にとっては、地域社会に貢献しイメージを向上させることを目的として、スポンサー付道路照明灯事業を

開始しました。

この事業は、企業・団体等が道路照明灯のスポンサー（OUR ライトサポーター）として電気料金相当額（1本当たり年額2万円）を負担し、県は道路照明灯の維持管理に協力を受けている旨を、照明灯柱歩道側の管理に支障のない位置に表示するものです。

(2) 現 状

事業初年度である今年度は、徳島市中心部の県道5区間を選び重点区間として取り組むこととしています。



シール添付（イメージ）

写真7 スポンサー付き道路照明灯